

安全とは？ みんなで議論しよう！

1/23
発生

上野～大宮間における新幹線の架線トラブルによる停電事故、
輸送障害及び感電事故に対する緊急申し入れを提出！

国土交通省よりJR東日本へ、1月23日に発生した架線トラブルに対して「警告書」が発出されました。昨年の東海道線大船駅構内において列車と電化柱が衝突した事象に続いての発出となり、JR東日本のトッププライオリティである『安全』が脅かされています。

今回の設備故障では、架線の張力を調整する自動張力調整装置(WTB)の重錘ロッドが破断しています。また、復旧作業中に感電事故の二次災害が起きています。昨年6月16日には千葉内房線で感電死亡事故が発生しており、この間も安全に対して団体交渉でJR東日本に求めてきたところであり、繰り返し発生していることは異常事態です。

復旧体制、連絡体制がどうであったのか、背後要因も含めて原因究明を徹底して再発防止に努めていかなくてはなりません！

【申し入れ項目】

1. 1月23日の事象の経過と停電した原因の詳細を明らかにすること。
2. 復旧作業中に感電事故が起きた原因を明らかにすること。また、指揮命令の体制、電力指令と輸送指令のやり取りについて、事象発生から感電事故までの運転統制記録について事前に示すこと。
3. 「自動張力調整装置」の検査履歴、管理表等について事前に示すこと。
4. 今後の電気関係設備に関する対策について内外に明らかにすること。
5. 今回のような輸送障害発生時に二次災害を起こさないために、そして、安全・安定輸送の確立に向けて、労働組合と真摯に議論する中で対策の確立を図ること。

安全・安定輸送の確立に向けた
原因究明・再発防止を求めていきます！

復旧作業時に受傷された作業員2名の方の、
1日も早いご快復をお祈り申し上げます。